

令和2年7月7日

鉄道・運輸機構 東京支社

神奈川東部方面線新横浜トンネルに係る地盤変状検討委員会

<令和2年6月12日及び6月30日に発生した横浜市道環状2号線の陥没について>

第2回の議事内容

第2回委員会では、2回目（6月30日）の陥没の経緯から応急復旧までの状況報告と、2箇所
の陥没を踏まえた当面の対応策、追加地質調査の整理状況およびシールドトンネルの掘進時
データの説明を行いました。これらをもとに委員会には、地質、施工、環境など多角的な視点
より陥没の原因について議論していただきました。

1. 2回目（6月30日）に発生した陥没の経緯
2. 応急対策の状況
3. 2箇所の陥没を踏まえた当面の対応策
4. 追加地質調査の整理状況
5. 2箇所の陥没箇所も含めた掘進データの整理
6. 陥没箇所の考察

今後の予定

今回の議論を踏まえ、必要な調査を実施するとともに、陥没の原因について検証していきま
す。さらに、今後の工事を安全に進めていくための対応についても検討していきます。

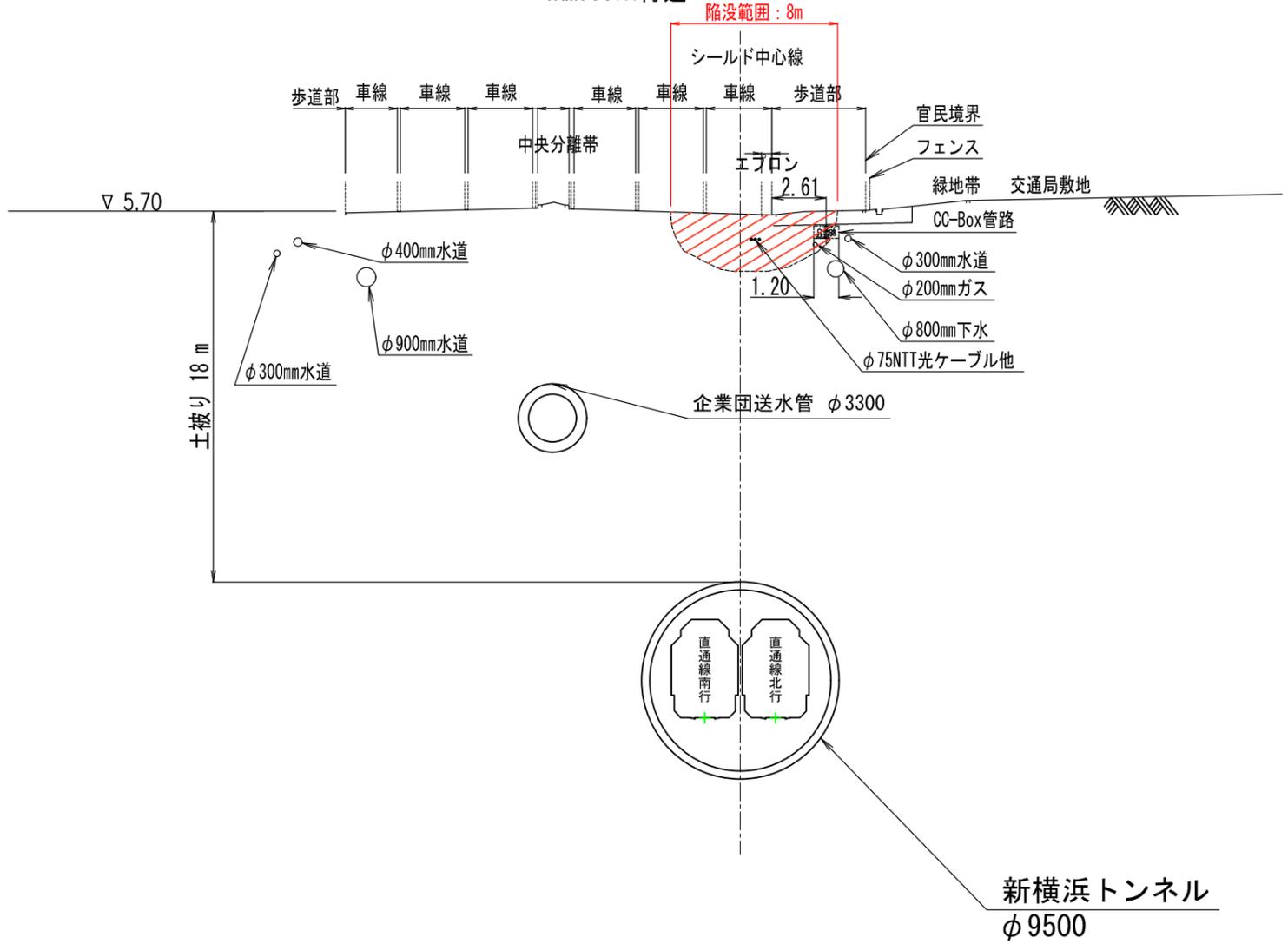
陥没発生位置図



断面図

網島方から新横浜方を望む
4km955m付近

注) 陥没範囲は推定である



断面図

網島方から新横浜方を望む
5km257m付近

注) 陥没範囲は推定である

